<参考> 東京都選定歴史的建造物について

東京都選定歴史的建造物 一

歴史的な価値を有する建造物のうち、景観上重要なものとして、東京都景観条例 に基づき、知事が選定したものです。ただし、文化財は除かれます。

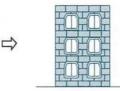
* 東京都景観条例

東京の自然を生かし、歴史と文化を継承し、地域の個性と多様な魅力を発展させるために、 景観づくりに関する必要な事項を定めて、景観づくりを総合的・計画的に進めることを目的 とし、平成9年(1997年)12月に制定されました。

(平成18年(2006年)10月全部改正)



「古いだけで大した 建物ではないみたい」 (文化財でもないし)



「いいえ、東京の 景観づくりにとって 重要な建物です」



「土木構造物でも いいものがあるけど」

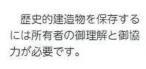


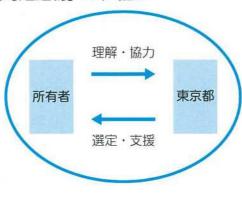
「建築だけでなく 土木構造物なども 重要な建造物です」

基本的な考え方 -

所有者の御事情を考慮し、緩やかに保存し、景観づくりの中で活用していくという考え方です。規制という考え方ではなく、所有者と東京都との信頼関係に基づくものです。

※ 「東京都選定歴史的建造物」の仕組み





東京都は景観上重要な歴 史的建造物を選定し、でき る限りの支援をします。

「東京都選定歴史的建造物」に選定されるまで

知事の諮問

景観審議会 の答申 所有者の 同意

区市町村の 長の意見 選定・告示

東京都選定歴史的建 造物とすべき建造物に ついて、景観審議会に 対し調査審議をお願い します。 景観審議会は東京都 選定歴史的建造物とすべき建造物について調査審議し、選定候補となる建築物を報告します。 この制度に御協力い ただける場合は、同意 をいただきます。区市 町村の長からは意見を 聴きます。 知事が、手続が完了 したものを選定し、告 示 (東京都公報に登 報) します。

選定基準

- 1 歴史的な価値を有する建造物で、原則として建設後50年を経過しているものです。
- 2 東京都の景観づくりにおいて重要なものです。
- ① 地域の歴史的景観を特徴づけていること
- ② 地域のランドマークとしての役割を果たしていること
- ③ 都民となじみが深く、地域のイメージの核となっていること
- 3 できるだけ建設当時の状態で保存されているものです。
- 4 外観が容易に確認できる(外から見える)ものです。

※ 「東京の景観づくりにおいて重要なもの」

基準	地域の歴史的景観を特 徴づけていること	地域のランドマークとし ての役割を果たしているこ と	が 都民となじみが深く地域 のイメージの核となってい ること
例	○ 東京の風格ある景観 を構成している ○ 立地する場所と関連 が深く一体的な景観を 構成している ○ 建設された時代・類 型に特色があり特徴あ る景観を構成している	○ 大通り・角地・広大な 敷地に存在している○ 周囲に比して規模が大きい○ 特徴的なデザインが際だっている○ (以上の条件を複数満たしている)	○ 日常生活の中で広く都 民に利用されている ○ 絵画・写真・映画・文 学等でその存在が引用されている ○ その他、人々に親しまれ、都民の関心が高い